

量り売り 必要な分だけ購入

食品や日用品などが必要な量だけ購入できる「量り売り」が広がってきた。少量ずつ様々なものを試し買いできるほか、容器を持参すればゴミの削減にもなる。

「食べてみたかったシリアルを少しだけ買ったり、好きなナッツを大量に買ったりと、量を自由に調節できるのがうれしい」。12月中旬、「無印良品 東京有明」(東京都)で買い物をした会社員女性(39)はそう話す。

12月3日に開業した同店には、ドライフルーツやチョコレート、コーヒー豆などの量り売りコーナーが設けられ

約60種類の食品が入った容器が並び、1種類ごとにグラムあたりの価格が決まっている。客は紙袋に商品を詰め、はかりにのせれば、価格を記したラベルが印刷される。紙袋に貼って、レジで会計をすればいい。

食器用洗剤や洗濯用洗剤などの日用品も1000ミリリットル単位で購入できる。使い終わった容器や、持参したペットボ

少量試し買い ゴミ削減へ容器持参

ルにも詰められる。

東京などに店があるオリーブオイルの専門店では、数十種類のオリーブオイルを1200ミリリットルから購入できる。容器の瓶は無料。試飲もできる。「どんな味が好みかなどを聞きながら、最初は少量からの購入を勧めます」と店長の神谷幸佑さん。

ナチュラルローソンも8月から、洗剤や柔軟剤の量り売りの実験を始めた。東京都内の3店舗で実施している。扱っているのはニユージランドの自然派日用品ブランド「エコストア」の洗剤や柔軟剤など4種類で、1000ミリあたり70〜110円(税抜き)だ。

野村総合研究所の林裕之さんは、「消費者には『気になる商品を試したいけど、買って失敗したくない』という心理がある。量り売りなら使い切れる量で購入できるので、多少割高でも失敗が少ない点もいいのでは」と話す。

「無印良品 東京有明」の食品の量り売りコーナー(東京都)



(2020年12月29日 読売新聞朝刊より)

1 「量り売り」の良い点として記事から読み取れるものを、全て選び、番号で答えましょう。

- ① 自分が気に入るかどうかわからない初めての商品も、買いやすい。
- ② 持参した容器などに詰めることができるので、ゴミを減らせる。
- ③ 客が自分で容器に詰める方式なので、その分値段が安い。
- ④ 普通の売り方よりも取り扱っている種類が豊富で、たくさんの中から選ぶことができる。
- ⑤ 必要な分だけ購入できるので、残して腐らせてしまったりすることが少なくなる。

2 記事では量り売りをしている「3つの店」が紹介されています。店を3つ紹介した狙いとして、最も適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 「量り売り」でものを購入できるのは、海外の製品ばかりであることを示すため。
- ② 「量り売り」は特別なことではなく、様々な店が導入し始めていると示すため。
- ③ 「量り売り」をしているのは今のところ、この3つの店だけだと強調するため。
- ④ 「量り売り」の場合は買い方がとても複雑なので、繰り返し説明して理解してもらうため。